



# 銀座レトロギャラリーMUSEE

川崎ブランドデザイン有限会社 代表取締役

川崎 力宏



山崎 晴太郎・宮川 智志

**Q** 銀座1丁目にある「銀座レトロギャラリーMUSEE」を運営されている「川崎ブランドデザイン有限会社」の代表取締役、川崎力宏さんです。よろしくお願ひします。

**A** よろしくお願ひします。

**Q** よろしくお願ひします。何やら色々な経緯があって、今に至るという感じなんですかね？

**A** 銀座でこんなギャラリーしているなんて、3年前には思ひつきませんでした。元々は、大分県にある建設会社で、オーナー一族だったんです。私も建設会社を継ぐつもりで勉強してきたんですけど、4年前に父が病気で亡くなってしまったんです。本当は私が継ぐべきだったんですけど、ちょっと親戚の理事長と喧嘩をしてしまいました(笑)

そこも揺れば色々ありそうだな(笑)

**Q** 保守的な会社でしたから、あまりにも私が気がよすぎたということで、父が残してくれた遺産を引き継いで、3年前に東京に戻ってきました。銀座のこの建物を築80年の建築の所有権ごと買わせていただいています。

**山&宮** おー！すごいですね。どういった経緯で今のギャラリーに出会われたんですか？

**Q** 恥ずかしながらインターネットで「銀座 土地」とか引っかけて見つけました。ちょっと高い値段だったんですけど、現金で持っているよりいいなと思ひまして。こんなに良い建築だと思わなくてですね。

**宮** 土地ありきみたいな感じだったんですね。

**Q** そうですね。その時は、建設会社の人間でしたから、破壊は芸術だというぐらい感じて壊して新しいのを造ることばかりだったんですね。どんどん夢だけが膨らんで、藤本壮介先生という有名な先生とご縁がありまして、お願ひして基本設計まで作ってもらって、14階建ての芸術的な設計で。いざ建てるとなると、もっとハードルもあって、採算も合いませんし。その時思ひついたのが、残っている建物を活かして何かできないかなということなんです。夢を見まして、ギャラリーならできるんじゃない？ということ。降ってきました(笑)

**Q** それは本当に夢で、ギャラリーならという感じですか？

**Q** はい。元々、アートも大好きでしたし、作家さんの知り合いもいましたし、ライフワークとして、いつかギャラリーはって思ひましたので。だから趣味が仕事になっちゃったみたいなの。

**Q** 佇まいが素敵だなと思ひて。あと、WEBもいい温度感で、全体を出しているなみたいなの。

**Q** 私もどちらかというと、マーケティングという興味もありますし。アートの知識って正直そんなにないんです。こだわっているのは、あまり作品主義じゃなくてですね、「人を繋ぐ仕事」をしている。これが私の思うギャラリー像というか、大好きな建築に集まって、人と人が繋って、新しい出会いをっていう、うちが提供できる価値はそれかなと。

**宮** じゃあ、媒介にはするけれども、「場」を作るってことですかね。

**Q** そうですね。

**Q** 古い建築だったわけじゃないですか。現代に合う形で改修するにあたって、やるべきことと残さなくてはいけないところがあつたと思ひますよ。

**Q** 直近の40年は、和食のお店が入っていて元氣な女将さんが経営されていました。銀座にある唯一の紅葉の木も、その女将さんが植えられたそうなんです。残すべきものは、その女将さんが大事にされていた紅葉の木とかですね。外すものは、飲食業だったので、そういうのは、

## 銀座レトロギャラリー MUSEE

東京都中央区銀座一丁目 20-17

Tel. 03-6228-6694

http://www.kawasaki-brand-design.com/

まあまあ、当然そうですね。

**Q** 82年前の建物なんですけど、窓も当時は開いていたのも塞がっていたので開けてみたりとか、階段の位置を戻したりとか、創建当時の間取りと言いますかそういうことはこだわりました。でも、あんまりいじっていないですね。

**宮** 大きく触るという感じではないんですね。

**Q** 私自身、現場に3か月通って(笑)建設会社時代は、業者さんに任せてっていうことだったんですけど。今度は経費かけられないから。

**宮** (笑) それこそ愛着が沸きますよね。

**Q** 最初の工事の段階で愛着が沸いていって。今リノベーションとかブームだから、皆さんご自分でされるのがいいのかなって。

**Q** そうですね。DIYとか流行ってますからね。

**宮** それを体現されたということですよね。ちなみに、ギャラリースペースは4つあるということなんですけどもそれぞれコンセプトとか、用途の違いみたいなものはあるんですか？

**Q** 3階建ての建物なんですけど、階ごとに天井の高さが違うので雰囲気全然違います。それぞれ明確なコンセプトは決めていないんですけど、作家さんにもいくつか種類があるので作品をどんどん売りたいという方は1階を使ってもらって。逆に、写真とか油絵とか、本当に作品を見せたいという方には2階を。落ち着いたプライベートな時間と、語らう時間を取りたいという方は3階という感じ。皆さん、自然と使い分けてもらっていますね。

**Q** どのようなアーティストさんが、やってらっしゃるんですか？

**Q** 有名な作家さんということはないですね。基本的に2極化していて、1つは50代60代の女性の方が多くんですけど、何か教室で教えていらつっしゃる先生とかのグループ。もう1つは真逆で、若い20代の美大を出たばかりの子たちですね。どちらの作品もクオリティは高いですね。作家同士の交流を楽しんでいらつっしゃいます。芝居小屋と一緒に、1週間だと1週間やれば次の作家さんにバトンを繋ぎますので、そこで顔なじみになって。

**Q** いいですね。まさにそれは「場」を作っているってことですよね。それって何かコツとかいうか、意識されていることはあるんですか？

**Q** 私が美術的に言うことは失礼だと思ひているので、皆さん褒めています。どこかしらいいところがあると思うので。作家さんが遊びに来る時も、「次あるからまた来てね」と一人ひとりに声をかけて。搬入搬出の時も親身に手伝ってあげてっていう感じですね。

**Q** 印象的だった展示とかありますか？

**Q** 作家さんではないんですけど、亡くなられた作家さんの奥様が回顧展をされるということがありました。ちょうど私の父が亡くなった時と同時期で、奇しくも同じ大分県出身の作家さんでした。本当に素晴らしい絵で。うちの古い建築とマッチして、「死んだ主人も喜んでます」と奥様は涙を流しながら飾ってくださいました。商売でもなし、純粋に見ていただきたいという展示でした。

**Q** なるほどね。

**宮** やりたいんですよ、展示会？

**Q** どこでやるかって大事じゃないですか、そういうのって。ただ、ずっと見せていただいて、「ここでやりたいな」って思っていたんですよ。

**Q** そうなんですか。ぜひぜひ。何かお手伝いできることがあれば。

**Q** これを機会に、ぜひ(笑)。どの部屋にするか決めておかないと。

**宮** あと、今日は絶対伝えておかないといけないというのが、ピンクの……。

**Q** そうなんですよ！ふつちやいますけど、ピンクありますよね。どこでもドアが！

**Q** これはちょっと遊んじやいました、リノベーションする時に。

**Q** 完全にどこでもドアじゃないですか。もしかして、ドラえもんが大好きな？

**Q** そうなんです。小学校の時にスパークしまして、コロコロコミックを本当に愛読していたんです。これが1995年かな、その時に、懸賞に応募



したんです、コロコロコミックの。そしたら、当たったんですよ！

**Q** スゲー！

**Q** これは、劇場版ドラえもんセル画。実はこれ、ギャラリーで恒久展示してしまっ……すごいでしょ？(笑)

**Q** じゃあ本当にドラえもんが好きで、「作っちゃえ」みたいな？

**Q** 実はこの建物が築82年の建物なんですけど、藤子・F・不二雄先生も生誕が同じ昭和7年。そういう縁を感じながら。この扉、仕掛けがありまして、ドアの表はピンクなんですけど、裏側は古いまなんです。古いものからインスピレーションを受けて、未来志向の作品を、ぜひこの場で発表してほしいという。

**Q** 色々なメッセージが込められていますよね。どこでもドアから想起される未来性だったりとか、どこでも行けるんだよ、その一枚の絵がばつていう。いいじゃないのー。くぐりたいね。

**Q** ドラえもんって古い物を大切に使うエピソードとか多いと思ひていて、この建物を維持できているのも、何か縁かなって。不思議ですけどね。

**Q** 僕も、ドラえもんがこの世にある限り、この国の未来は明るいと思ひています。ドラえもんを通して、子どもたちが育つ限りね。では、最後にリスナーにメッセージがありましたら、よろしくお願ひします。

**Q** 銀座1丁目、昭和通りを渡ったところなんですけど、「銀座レトロギャラリーMUSEE」大変古い建物です。いつでも見学だけでもいいですし、建物を見るのは大歓迎です。ぜひ、皆さんにどんどん来てほしいな。来れば何か発見があると思ひます。ぜひ遊びに来てください。今日はありがとうございました。

**山&宮** ありがとうございます。

**宮** 銀座1丁目にある「銀座レトロギャラリーMUSEE」を運営されている「川崎ブランドデザイン有限会社」の代表取締役、川崎力宏さんでした。



no.005

野の花 司  
TSUKASA



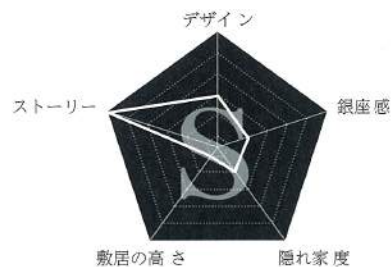
銀座三丁目

map  
no.

C-2

山崎  
晴太郎

7



ソラトニワ銀座のある松屋銀座のすぐ裏の通りにある花屋。一風変わった野草・茶花の専門店。ここは所謂花屋さんと聞くと描く洋花や人口栽培された花はほとんど置いていない。野山、庭に咲いている花々を取り扱っている。

ありのままの自然をそのまま取り込むような花の美しさは、同じ花でもすこし表情が異なる。まっすぐ綺麗に育てられた人口栽培ではなく、あるがままに育つ草花は、生き生きと

した表情とともに無限の生命力と繊細さ感じさせる。花を活けてなんとなく自然を感じる気になっていた僕はすこしハッとさせられた。店頭販売以外にもオンラインでも注文が可能。またガーデニングや施工まで野草を使った設計施工も行っている。以前、事務所移転の際にももらった花がこの花だった。沢山あるお祝い花の中でも異彩を放ち、今でも記憶に残っている。普通の花では飽き足りない時の贈り物にもオススメだ。

no.006

銀座レトロギャラリー MUSEE  
MUSEE



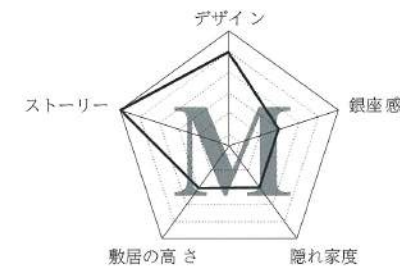
銀座一丁目

map  
no.

D-3

宮川  
智志

8



なんとも漂とした顔をした建物が目に入る。ここ MUSEE は、銀座 1 丁目のギャラリー。80 年の歴史をもつビルが改修を経てレトロギャラリーとして新しい顔を見せている。レンガ調のタイルの外壁が当時の面影を壊すことなくビルの改修が行われており、レトロという表現をとる建物も数多あると思うが、一度見ていただければ、「具合のいい」レトロ感を味わえるかと。3 階建ての内部がギャラリーとなっており、

建築空間をモチーフに作品制作をすると「共創割引」がある、展示する側にも楽しみが多いギャラリーだ。アート作品、アーティストと私達の距離を今まで以上に近づけてくれる、そんな場所である。ちなみにドラえもののどこでもドアをモチーフにした扉もあり、それは是非中に入って確認してもらいたい。新しい価値を提示してくれるこのギャラリーが銀座に親しまれ、新しい文化を築いてくれる場所となる。

# 銀座 四次元ポケット



"ドラえもんが大好き"なアートディレクターで  
デザイナーの山崎晴太郎と  
"木が大好き"なアーキテクトディレクターの宮川智志の  
2人がデザインや設計に携わるクリエイターの目線で  
銀座の魅力を伝えます。

2人のトークの四次元ポケットにはどんな話題が入っているのか??  
生放送を見に来ると、もっと楽しめるかもしれない、そんなプログラム。

## ON AIR 情報

2012.12.2 (日) - 2015.4.24 (金)  
毎週金曜 19:30-21:00

[www.soraxniwa.com](http://www.soraxniwa.com)

“デザインや設計に携わるクリエイターの目線で銀座の魅力を伝える”というコンセプトの下、2012年12月にスタートしたWEBラジオ番組「銀座四次元ポケット」。2年目を迎えるにあたって、初心に戻る企画として『銀座三ツ星MAP』が生まれました。

“銀座”と聞いて思い浮かべるものは人それぞれ違うでしょうが、銀座で長く商売をされている方たちによると「銀座に合わないものは自然となくなっていく」のだそうです。つまり、合わないものを排除したのではなく、合うものだけが残って今の銀座になったということです。

このMAPには、山崎晴太郎と宮川智志の二人が選んだ、既に銀座の歴史の一部になっているものから、これから歴史の一部になっていくであろうものが並んでいます。どんな形で銀座に寄り添っているのか?これからどんな存在になっていくのか?そういった想像を膨らませながら、実際に街歩きをしていただくと銀座の魅力の一端に触れることができると思います。2015年の銀座の記憶の1つとしてお楽しみください。

- 銀座四次元ポケットについて
- 目次
- no.001 東哉
- no.002 銀座夏野 小夏
- no.003 ギンザ・グラフィック・ギャラリー
- no.004 資生堂パーラー銀座本店
- no.005 野の花 司
- no.006 銀座レトロギャラリー、MUSEE
- 銀座レトロギャラリー MUSEE 川崎 力宏
- no.007 SARTO Ginza
- no.008 NIKKO 銀座
- no.009 コルク銀座店
- no.010 ミキモトブティック MIKIMOTO Ginza 2
- 15.-16. CORK 銀座店 出原 麻里
- no.011 月光荘画材店
- no.012 デビアス
- 19.-20. 月光荘画材店 日比 康造
- no.013 BRASSERIE PAUL BOCUSE
- no.014 銀座博品館 TOY PARK
- no.015 銀座 三河屋
- no.016 ニコラス・G・ハイエック センター
- 25.-26. 銀座 三河屋 神谷 修
- no.017 ボルドー
- no.018 銀座 安田松慶堂
- no.019 モトーリモータ
- no.020 トリコロール
- no.021 リーグ
- 33.-34. LEAGUE 児島 絵里子
- 35.-36. MAP
- PROFILE - 山崎 晴太郎
- PROFILE - 宮川 智志